要保管

climbing technology

Braking Devices

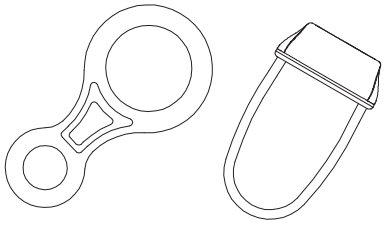
クライミングテクノロジー
ブレーキングディバイス

IST12-DISCNEUTIW_rev.0 07-15

ブレーキングディバイス共通取扱説明書

製造元:イタリア・アルデザイン社
（商標名:クライミング・テクノロジー）
輸入販売元:イワタニ・プリムス株式会社
東京都中央区八丁堀4-12-20
電話番号 03-3555-5605
イタリア製　素材:アルミニウム合金

3年保証
MADE IN ITALY
EN 15151-2:2012



はじめにお読み下さい

登山・クライミングは一般的に他のスポーツに比べ、リスクの高いスポーツです。登山・クライミング用品を使用しても登山・クライミングには潜在的な危険が伴います。ご自分自身の安全のため、登山・クライミングを行うかどうかの判断はご自分で下してください。本製品を使用する前には必ず本取扱説明書をよく読み、本製品の特徴や注意事項をよく理解して使用してください。実際の使用の前には本製品の使用方法に十分に慣れることが必要です。また、登山・クライミングに際しては安全確保に対する幅広い知識が必要であることを認識し、考えられうる事故に備えなければいけないことを考慮してください。

この取扱説明書はご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みいただいた後はいつでもご覧になれる所に保管してください。

⚠ **警告**　本説明書の正しい取扱方法に従わない場合、死亡または重大な傷害を負う恐れがあります。

表示内容

⚠ **危険**:人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容です。
⚠ **警告**:人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ **注意**:人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容です。
⊘ **禁止**:やってはいけないことを表しています。

ご使用に際しての注意事項<必ずお読みください>

この注意書は、EN15151-2:2012に適合したブレーキングディバイスを登山･クライミングで正しく使用するための注意事項が書かれています。誤った使用方法、不適切な使用方法は、死亡または重傷を負う恐れがあります。この器具を使用する人は、使用方法を習熟しておく必要があります。使用者は使用方法(器具の使用方法および安全確保に関しての正しい措置)についての充分な習得が必要です。本取扱説明書に記載のある正しい方法でのみ使用してください。他の方法による誤った使用方法は禁止いたします。使用者はクライミング、岩登り等での実際の使用における生命および身体に対するリスクをあらかじめ認識してください。正しい使用方法を習得しない、またはリスクを認識しない人、クライミング全般に対する知識を有しない人や安全確保を行えない人は、本製品を使用してはいけません。製造元、販売店、輸入代理店は、誤った使用方法や不適切な使用方法に起因するすべての事故に対し一切の責任を負いません。

本取扱説明書は、クライミング用品の正しい使用方法などについて説明を行うものです。

クライミングに関する専門的用語が用いられています。語句の内容が理解できない場合は本製品を使用せず、まずクライミング講習等を受講してください。またクライミングには安全を確保するための正しいロープワークが必要です。これらが行えない場合は危険ですのでクライミングを行わないでください。また、クライミングは、クライミングについての知識や技能、およびその安全確保について十分な知識を持ったクライミングパートナーと一緒に行ってください。

⚠ **注意**　説明書は見やすさを優先しており、素手で表記してあります。実際の使用に際してビレイヤーはクライミングのビレイ用手袋等を使用し、手を保護してください。

⚠ **警告**　登山、クライミングの前または最中には、アルコール、向精神薬、その他、知覚･認知、バランス感覚、集中力に悪影響を与える食品や薬品等の摂取を行わないでください。

1.用途

本製品はEN15151-2:2012に適合した登山･クライミング用の手動でブレーキ機能を調節するビレイ／ラッペルディバイスです。EN15151-2:2012は下記の4タイプに分類されます。Type1-制動力調節機能が付属しない登降器、Type2-制動力調節機能が付属しないビレイ及び下降器、Type3-制動力調節機能が付属した登降器、Type4-制動力調節機能が付属したビレイ及び下降器があります。適応タイプと対応ロープ径は**図1**を確認ください。

> ⚠ **注意** ロープに表記された径は、±0.2mmの誤差があります。ロープの径や特質は、使用頻度が増すごとに変化することがあります。

図1

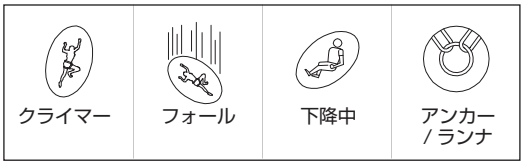
Models			EN 15151-2	
8	CT-33017	94 g	Type 2	EN 892 ①Ø8,6~10.5mm ½@ Ø7,3~9mm
8	CT-33026	108 g	Type 2	EN 892 ①Ø8,6~10.5mm ½@ Ø7,3~9mm
8	CT-33032	125 g	Type 2	EN 892 ①Ø8,6~10.5mm ½@ Ø7,3~9mm
8	CT-33041	79 g	Type 4	EN 892 ①Ø8,6~10.5mm ½@ Ø7,3~9mm
TUBE	CT-31042	65 g	Type 2	EN 892 ①Ø8,6~10.5mm ½@ Ø7,3~9mm

2.表示

本体表示(製品によって下記表示がないこともあります。)

■製品が適合した基準を示す番号　■製造者名またはその商号(CTロゴ)　■商品名　■破断強度　■使用可能なロープ径　■使用者は取扱説明書を読み使用方法について熟知する必要があることを示す図(本の形をしたイラスト)　■併用して使用する器具の正しい接続方法のイラスト　■生産国　■生産バッチ番号

本取扱説明書の表示記号



3.チェック

実際に使用する前に、すべてのクライミング用器具が最善の状態であることを確認してください。摩耗がひどかったり、ひび割れが見られたり、亀裂が入っていたり、ささくれているような場合は使用を中止してください。特に、ロープと接触するポイントを注意深く確認して下さい。また本製品と接続するロッキングカラビナのゲートがしっかりとロックされるかどうかを確認してください。さらに本製品が砂や泥で汚れていないことも確認してください。

> ⚠ **警告** 非常に大きな荷重･衝撃を受け、製品の状態に疑いがある場合は使用しないでください。

使用者の責任のもと、使用するすべてのディバイスが正しく機能すること、使用中では常に接続したロッキングカラビナが正しい位置に接続されていることを確認してください。不意にロッキングカラビナが回転することによって、ディバイスが正しく機能しない場合があります。

【使用方法】

本製品を使用してのブレーキ性能は、製品適応タイプや使用するロープの径、環境(天気や気温)に左右されます。もし新しいロープや径の細いロープ、雨や雪の状況下で使用する場合は、安全な場所で事前に確認してください。また必ずロッキングゲートが付属したカラビナ(HMS型やオーバル型)と一緒にお使いください。

チューブ型

すべてのチューブ型のディバイスは、使用しない場合にカラビナを接続してハーネスからぶら下げるためのスチールケーブルが付属しています。また本ディバイスを使用の際は、必ずHMS型ロッキングカラビナと一緒に使用してください。

> ⚠ **危険** スチールケーブルには強度がありません。決してカラビナのように荷重がかかるような方法で使用しないでください。

エイト環

使用の際は必ずロッキングカラビナと一緒に使用してください。このロッキングカラビナは、HMS型やオーバル型であることを推奨します。

> ⚠ **危険** 本取扱説明書に記載する方法でのみ、本製品を使用することができます。それ以外の方法での使用は大変危険ですので、絶対に行わないでください。

4.リードクライマーのビレイ(図2)

ビレイヤーはビレイを行う前に下記事項を確認してください。

·本製品に正しくロープがセット(**図2-A,B**)されており、機能すること

·リードクライマーがハーネスへロープを正しく結んでいること

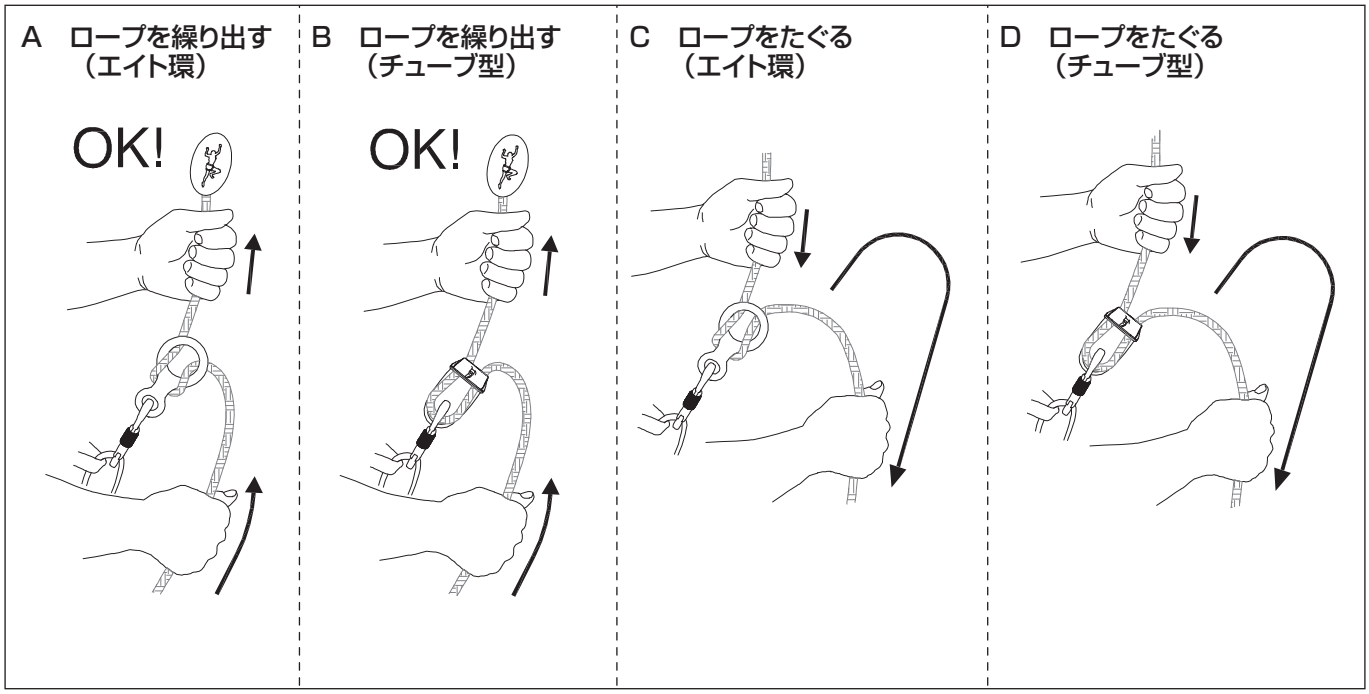
·ロープが絡まっていない状態であり、末端のみ結び目が作ってあること

·ビレイを行うことに適した場所であること

⚠ **警告** クライマーのビレイを行っている時、ビレイヤーはロープの末端側から決して手を離さないでください。

片方の手で末端側のロープを持ち、本製品を通じてロープを繰り出すと同時に、もう片方の手で握ったクライマー側のロープを引き、クライマーの方向へ繰り出します。この時、ロープの末端側から手を離さないようにしてください。またクリップの直後などロープがたるんだ場合は、**図2-C,D**のようにたるんだ部分をたぐってください。

図2



⚠ **危険** マルチピッチクライミングを行う時、次のピッチへ登りだす前に、リードクライマー側のロープは、ビレイヤーのアンカーまたは上部ランナーにセットしたクイックドローに必ずクリップしてください。これを行わないとクライマーがフォールした場合、クライマーを止めることができません。

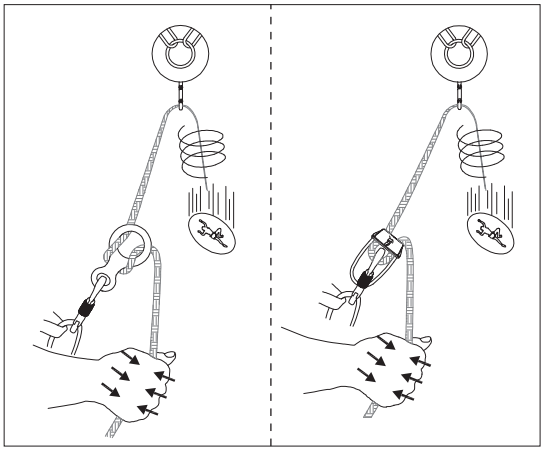
5.フォール(墜落)を止める(図3)

クライマーがフォールした時に確実に止めるためには、ロープの末端側をしっかりと手で保持し、下方向に引きます。ロープとディバイスとの摩擦で抵抗ができ確保することができます。

⚠ **危険** ビレイヤーはロープの末端側を握る手を決してディバイスより上に上げないでください。制動が効かない状態となり危険です。

⚠ **警告** 本製品は、クライマーのフォール(墜落)の際に自動的にロープの流れを止めるロック(オートブロック機能)が作動する器具ではありません。ビレイヤーが自発的にロープの末端側を握り、引き止める場合にのみロープのブレーキやコントロールが可能になります。

図3



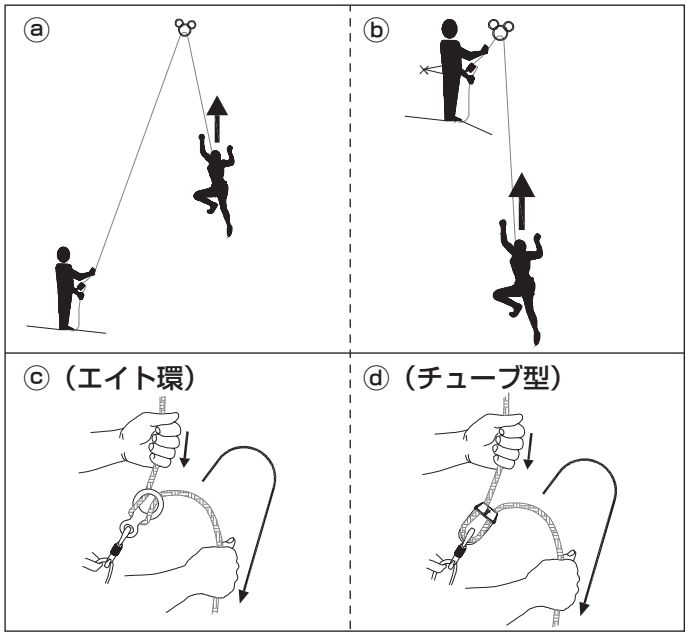
6.トップロープ(図4ⓐ)・セカンド(図4ⓑ)でのビレイ

クライマーが登る間、クライマー側のたるんだロープをたぐり(**図4-ⓒ,ⓓ**)、末端側のロープを引いて常にロープがピンと張った状態にします。。

> ⚠ **危険** セカンドクライマーのビレイを行う際(**図4-ⓑ**)は、必ずアンカーに取り付けたクイックドローのカラビナにロープを通してください。この時、カラビナに通したロープの位置が本製品より上部になるように調整してください。

> ⚠ **警告** クライマーのビレイを行っている時、ビレイヤーはロープの末端側から決して手を離さないでください。

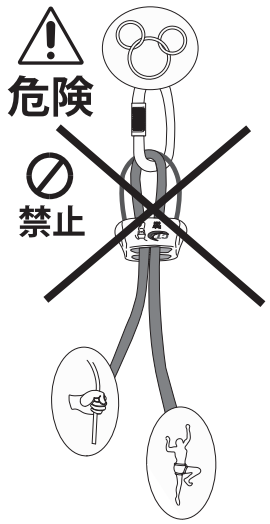
図4



⚠ **危険**

図5の様に本製品のスチールケーブルを直接アンカー側のカラビナに接続してセカンドクライマーを上方からビレイすることは危険なため、絶対に行わないでください。

図5

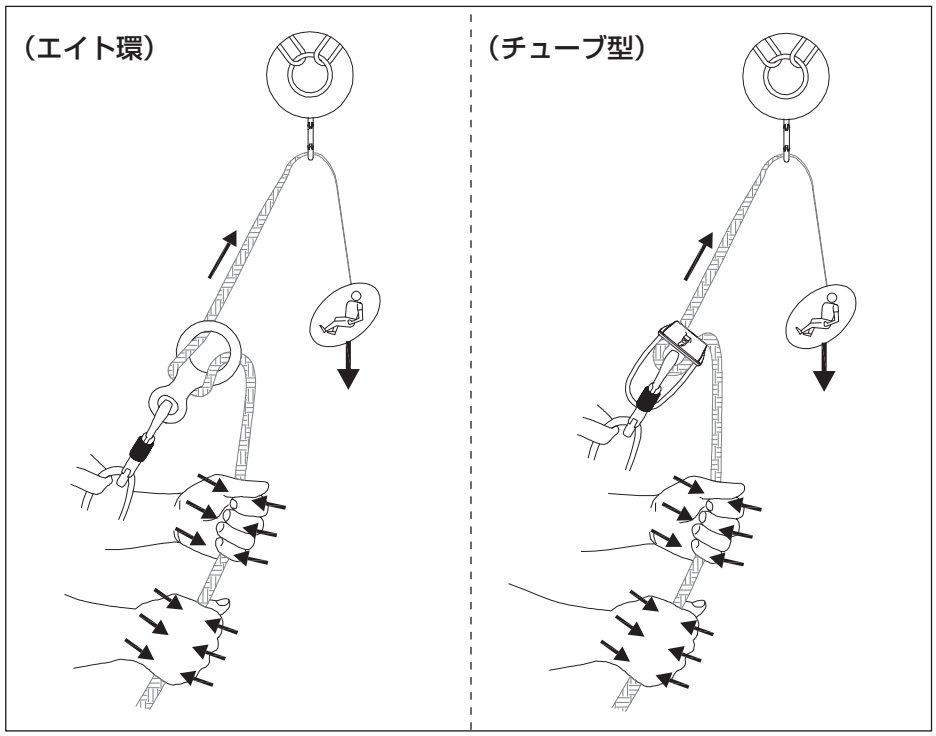


※この図は誤った使用方法を示しています

7.ロワーリング(図6)

末端側のロープを両手でしっかりと握り、クライマーの墜落を防ぎながら少しずつロープを繰り出し、ゆっくりとクライマーを下してください。

図6



⚠ **危険**

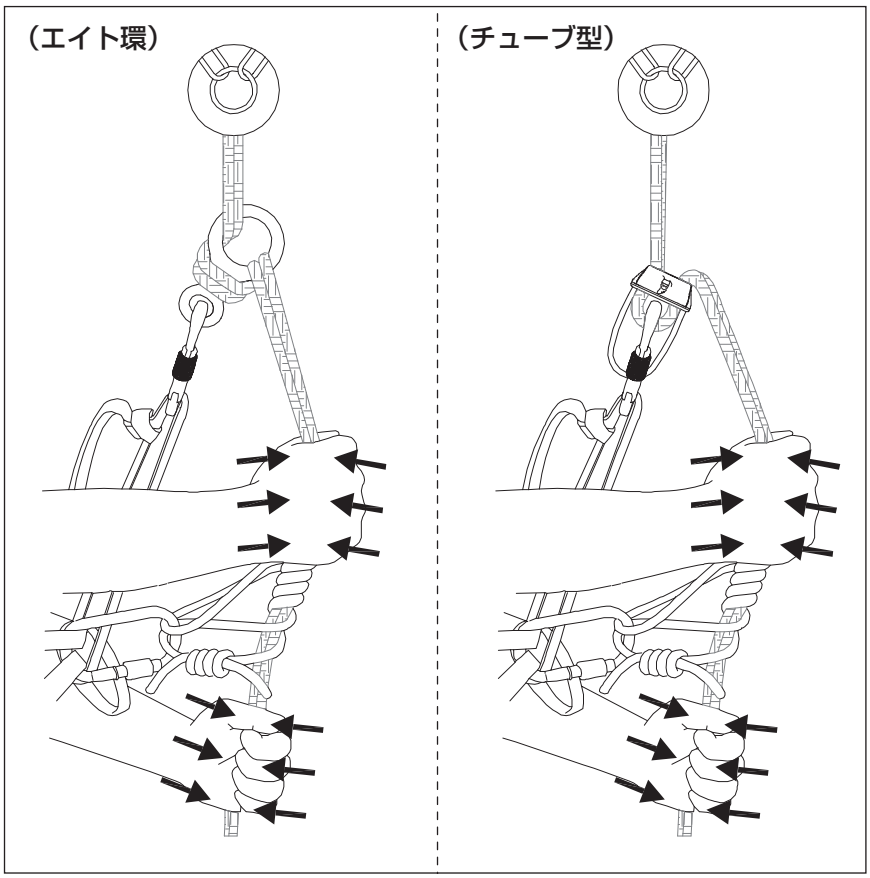
ビレイヤーは、ロワーリングの最中は末端側のロープを両手でしっかりと握ってください。いかなる時もロープの末端側から手を放さないでください。

8.ラッペル(懸垂下降)(図7)

ラッペルを行う前に、下記のことを必ず確認してください。

・ランヤードを用いてアンカーとハーネスを繋ぎ自己確保を行ってください(セルフビレイ)。
・ロープが絡まっていない状態でセットし、ロープの末端に“すっぽ抜け”防止のため結び目を作ってください。
・ロッキングカラビナを介して、プルージックコードをハーネスにセットしてください。

図7



8.1　セッティング

ロッキングカラビナを自己確保したランヤードに装着した後、本製品を取り付けます。この時、最低20cm以上離れた位置にセットしてください。**図7**のようにロープをディバイスやロッキングカラビナに取り付けてください。プルージックヒッチをディバイスの下側に作り、ディバイス側にずらした後、テンションを掛けロックが効いていることを確認します。最後に、自己確保を行っているカラビナを取り外して準備は完了です。

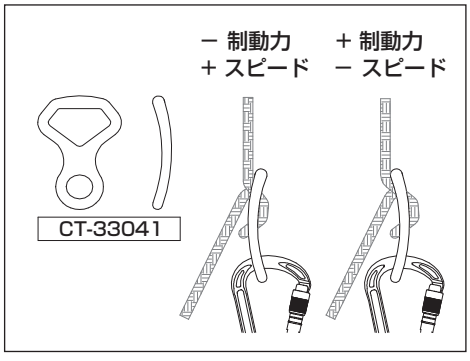
8.2　ラッペル

片方の手でプルージックヒッチを握り、もう片方の手でロープの末端側を握ってプルージックヒッチの方向へ押し上げながら下降スピードを調節します。

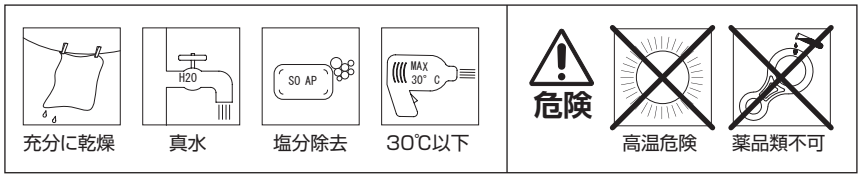
9.制動力の変更

Type-3及びType-4(**1.用途**)を使用の場合は、ディバイスの向きを変えることでロープとの摩擦による制動力を変更することができます。**図8**で示すセッティング方法を確認のうえ使用ください。

図8



10.その他一般注意事項



本製品に腐食やその他のダメージが見られる場合は廃棄し、新しいものに買い換えてください。汚れは使用のつどに落とし、必要に応じてきれいな真水で洗い流し、水をやわらかい布で拭き取り、よく乾燥させてください。海岸付近で使用した際には塩分を良く落とすことが必要です。ロープにダメージを与えないよう、器具の表面は常にバリ、傷、砂等の付着がないことを確認してください。本製品に改造を加えないでください。改造は本製品の本来の機能を損ないます。
傷つき防止のため、他のものと分けて保管･運搬してください。保管の際は汚れを落とし、よく乾燥させた後、冷暗所で行ってください。高温になるところ、薬品等に触れる恐れのあるところには絶対に保管しないでください。ダメージを与えるような他の鋭利なもの、硬いものと一緒に保管、運搬しないでください。濡れたまま保管しないでください。塩分を含んだ空気に触れないようご注意ください。その他器具を傷めないよう運搬には細心の注意を払ってください。特に夏季の車内は高温になりますので、車の中に放置しないでください。直射日光にあたる場所には保管しないでください。

11.製品寿命

製品寿命は使用の頻度や使用方法、保管状況によって異なります。また、大きな衝撃を受けた場合、使用時の気候等、その他多くの要因によって変わります。適切なお手入れと保管と運搬は製品を長持ちさせます。なお、プラスチック部品は使用頻度に関係なく製造から10年程度で劣化します。製造から10年経った製品は、ダメージがなく劣化していないように見えても買い換えるようにしてください。また、クライミング技術は常に新しい理論と実技が適用されます。クライマー、ビレイヤー等、本製品の使用者は安全確保に対し常に新しい情報を入手し、正しく安全な方法でクライミングを行ってください。本製品の使用者は、使用前、使用中、使用後には必ず本製品、また本製品と一緒に使用するクライミング用品が正常に機能することを確認してください。また毎年最低1回(頻繁に使用した場合、過酷な状況下で使用した場合はさらに短い期間において)は、クライミングインストラクター等の有資格者から、本製品の使用方法が適切か、器具が正常に機能し、安全を確保できる状態にあるかのアドバイスをもらい、確認を行ってください。なにか製品に不具合が生じていると思われる場合は、本製品を廃棄し、新しいものに買い換えてください。

12.保証について

本製品の製造またはその素材に起因する不良については三年間の保証が有効です。お買い上げいただいた際のレシートは製品の保証書の代わりになるものですので、必ず本取扱説明書と一緒に大切に保管してください。
次の場合、保証は有効ではありません
1.お買い上げ後の不適切な輸送、移動時の取り扱いが不適当なために生じた故障･損傷 2.通常使用で発生する傷、磨耗、コーティングのはげなどの外観上の変化 3.不適切な保管方法や誤った使用方法や不注意によって起因した故障･損傷 4.改造、不当な修理による故障･損傷 5.火災･地震、水害、その他天災事故による故障･損傷 6.または前述の事項に準じたその他の要因によるもの
保証期間後の修理･点検等についても本書をご提示ください。

本取扱説明書には著作権があります。ご自分の予備としてのほかはイワタニ･プリムス株式会社の許可なしに複製、公開することはできません。

CT
climbing
technology

認証機関

Test made by

apave
SUDEUROPE SAS
NOTIFIED BODY "0082"
8 rue Jean-Jacques Vernazza
Z.A.C. Saumaty-Séon - CS 60193
13322 MARSEILLE CEDEX 16
FRANCE

VVUÚ a.s.
NOTIFIED BODY "1019"
Pikartská 1337/7, 716 07
Ostrava-Radvanice
CZECH REPUBLIC

ブレーキングディバイス共通取扱説明書
発行日　2015年7月1日
発行者　イワタニ・プリムス株式会社
東京都中央区八丁堀4-12-20
電話番号 03-3555-5605　BD1